

# タイトル『永遠についての言正日月』

著者：岩井圭也

出版社：角川書店

とある大学から一冊のノートが見つかった。

それは六年前に~~七~~<sup>七</sup>くつった天才三つ矢目奈司

数学の

の石研究ノートだった。三つ矢目奈司は生前  
ムーシャムの一般化、ラッツ予想の肯定白言証

明ができた正に二十世紀のガロアである

(しかし、三つ矢にはある過去が恩師であった

小沼先生を段々<sup>と</sup>離れていき、三つ矢は段々と大い

はたして天に届かぬのか? 気になったおもちるん会になりかけた

ぜひ読んでみてください



(言正明の部)

$$Doge \circ P_s \subset n \langle \nabla \rangle \int L u (\rho) \cdot b_2 = c \text{ series } \dots$$
$$r_n \circ \dots \circ \frac{1}{3} \int \frac{1}{2} (3x) \circ x = \frac{1}{8} \times \dots \dots \dots$$

投稿日 令和元年5月23日

ペンネーム (本名は書かないでね!)	年齢
○△ □×	13